

# 盛土は安全



それとも キ・ケ・ン ?

～ みんなで話して 考えよう～

お話は、伊那谷の地形に詳しく、  
阿智村の「リニア対策委員会」でも助言されている。

## 桂川 雅信さん

日本科学者会議長野県支部幹事 中川村在住

4月12日(火)

小園研修センター2階会議室 19:00 から  
(参加料は無料です)

その他に、 — 沢の“今”がわかる —

南の沢・牛草沢の、スライド上映と

リニア関連の3月議会報告も あります。

——— 多くの方の参加を お待ちしています。 ———



学習会発起人 菅沼昭彦 栗澤左門 吉川明博

豊丘村村長 下平喜隆 様

### リニア中央新幹線トンネル工事発生土処分地の申請取り下げを求める要望書

2027年開業を目指すリニア中央新幹線は、長野県でも具体的に工事が始まろうとしています。11年後の夢、ロマンがこの伊那谷・豊丘村の発展につながってほしいと思います。

さて、山梨県(早川町)を入ったトンネルは南アルプスを貫き一旦大鹿村に出た後、今度は伊那山地を貫いて小園・壬生沢境に出てきます。豊丘村内でこのトンネル工事により発生する残土は225万 $m^3$ と見込まれており、村は村内3ヶ所を発生土処分地の候補地として長野県に申請しています。そのうちの1ヶ所が私たちの住む小園集落を流れる地蔵ヶ沢川の上流部「源道地集落」地籍です。JRによれば地蔵ヶ沢川上流部源道地集落の牛草沢と南の沢へ夫々約26万 $m^3$ づつ、合計約52万 $m^3$ (大型ダンプカー約10万台分)を埋めるという計画のようです。

「沢筋の谷を盛り土で埋めることなどとても常識では考えられない。」(土木業者・地質学者)と言うように、大量の残土で谷を埋めるということは大災害の種をまくようなもので、下流域「小園集落」に暮らす私たちは心配でたまりません。

現在の両沢筋は、風倒木や竹の繁茂等で見荒れているように見えますが、多くのえん堤工事がされており今は安定しています。

55年前のあの伊那谷大災害・36災の時地蔵ヶ沢川も荒れましたが、幸い犠牲者は出ませんでした。

最近では広島市安佐南区の土石流災害(死者76名)、阪神淡路地震による西宮市の地すべり災害(死者34名)など「想定外」の大災害が起きています。

盛り土で谷を埋めれば、土圧は年々高まります。土で埋まった木や竹の根は徐々に腐ります。土留めのコンクリートの寿命は50年と言われています。頻繁に起こる記録的な異常降雨や、間近かに発生すると言われている大規模地震により大量の土砂が流出すれば小園全部がつぶれてしまう様な想像を絶する被害が予想されます。

30年50年先、いや孫子の代にまで禍根は絶対に残してはならないと思います。「あの時こうやっておけばよかった。」では遅すぎます。

以上の趣旨から、私たちは次の事項について要望いたします。

#### 【要 望 事 項】

- 一、源道地地籍の発生土処分地については、県への申請を取り下げること。
- 一、JR東海へ、源道地発生土処分地に係る設計を中止させること。

氏 名	住 所

呼びかけ人(順不同・敬称略)

【原 道治、原 光雄、大澤俊郎、栗澤 勉、栗澤千鶴、竹内 収、吉澤孝子、吉川士郎、竹内とよ子】